

12月研修便り vol. 9

新人看護師：(IVナースレベルⅠ) 輸液ポンプ・シリンジポンプの管理



演習



輸液ポンプ、シリンジポンプの管理は、研修生の約7割が既に自部署で経験していましたが、機器のメカニズム、メリット、デメリット、リスクを演習で再確認していくと、今までの操作や確認などの根拠について理解不足があることに気づき、理解が深まりました。また、輸液ポンプ、シリンジポンプで与薬、治療を受けながら生活する患者さんの安全・安心な環境についても話し合いました。慎重な与薬に必要な精密機器を使用している患者さんの状態も重症度は高くなります。安全・安心を提供できる看護技術を身につけてほしいと考えています。(教育担当看護師長)

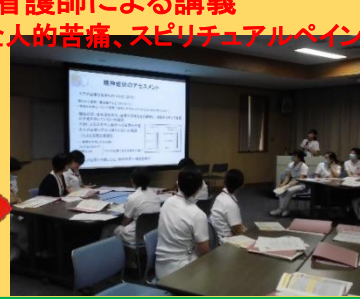


臨床工学技士の講義



ラダーII：看護倫理 終末期看護

緩和ケア認定看護師による講義
(終末期患者の全人的苦痛、スピリチュアルペイン、意思決定)



事例検討・
ロールプレイ

事例患者をアセスメントし、患者、家族の希望を調整していくためのコミュニケーションをロールプレイで考えました。ファシリテータの支援を受け、患者の思い、希望を尊重した意思決定を支援するには、「いつも側にいて見守り、支えたいと思っている」という気持ちや態度を示し信頼関係を築きながら、患者家族と一緒に繰り返し話し合っていくことが大切だと気づくことができました。反面、信頼関係につながる家族への労いや体調を気遣うといった何気ない声かけが難しいと感じている状況もわかり、実践につながるためには、実践を見せる、一緒に行うという先輩ナースの支援も大切だと感じました。(教育担当看護師長)

ラダーIII：看護倫理 高齢者の意思決定支援

リフレクション



「医療や看護を受ける高齢者の尊厳を守るためのガイドライン」(日本看護倫理学会)を読み、理解を深めたうえで、研修生が経験した倫理的問題と感じる高齢者への看護をリフレクションしました。ADLや認知機能の低下に対し、「できない」と判断し、説明や機能回復支援を積極的に行えていない傾向にあった等の気づきがありました。「高齢者の尊厳を守る」ことについて改めて考える研修になりました。研修生のアンケートに「高齢者の方が長い人生の中で築いた価値を大切にするとあり、研修生の倫理観を看護実践につなげられるように支援を続けたいと思っています。(教育担当看護師長)

